



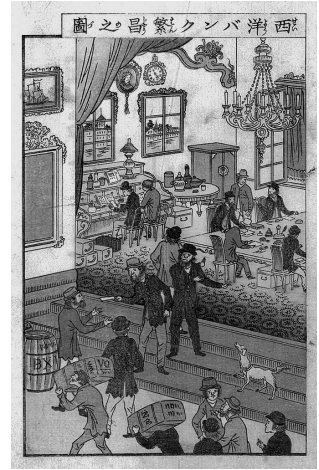
第一国立銀行本店鬼瓦 みずほ銀行所蔵
本店の正面屋根の鬼瓦と伝えられている。

幕末にパリ万国博覧会に随員として渡欧した渋沢栄一は、銀行を設立し、外国と取引するためにも合本組織をつくり、資金を集め、社会全体に金融をはかるべきと考えます。

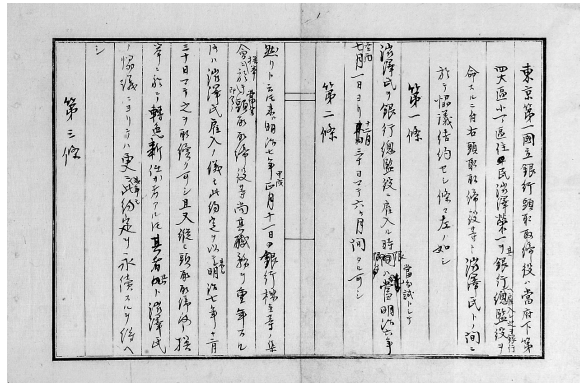
明治新政府に出仕した栄一は、近代的な金融制度確立の軸となる「国立銀行条例」の制定に尽力します。この条例にもとづいて、明治6年(1873)に創設された日本初の近代的な銀行が、第一国立銀行です。栄一は、同銀行の総監役(後、頭取)に就任し、このモデル銀行の育成に努めるとともに、後につづく多くの銀行の設立や育成にも尽力しました。

本展では、第一国立銀行創業期を中心に、さまざまな困難に直面しながら同行の育成に努めた栄一の活動や、現在へと受け継がれる銀行業に対する栄一の思いを紹介します。

西洋バンク繁昌之図(加藤祐一口述『会社弁講釈 上』
書籍会社 明治5年(1872)) 当館所蔵



第一国立銀行と渋沢栄一の総監役就任契約書草案
明治6年(1873) 渋沢栄一直筆 みずほ銀行所蔵



関連シンポジウム(※詳細は当館HPをご覧ください。)

第1回 長岡に学ぶ地方創生のありかた

日時：10月26日(月) 18:30~21:00
会場：アオーレ長岡 市民交流ホールA(新潟県長岡市)
定員：200名(事前申込・先着順) 参加費：無料
パネリスト：篠谷浩介(日本総合研究所調査部主席研究員)
平松廣司(かながわ信用金庫理事長・横須賀商工会議所会頭)
中村公哉(長岡商工会議所青年部自己啓発委員会委員長(理事))
司会兼討論者：松本和明(長岡大学教授)

第3回 今、金融に期待することー渋沢栄一の精神を生かして

日時：11月27日(金) 18:30~21:00
会場：日経カンファレンスルーム(東京都千代田区)
定員：170名(事前申込・先着順) 参加費：無料
パネリスト：寺西重郎(日本大学客員教授・一橋大学名誉教授)
翁 百合(日本総合研究所副理事長)
塚本隆史(みずほフィナンシャルグループ常任顧問)
司会：粕谷 誠(東京大学教授)

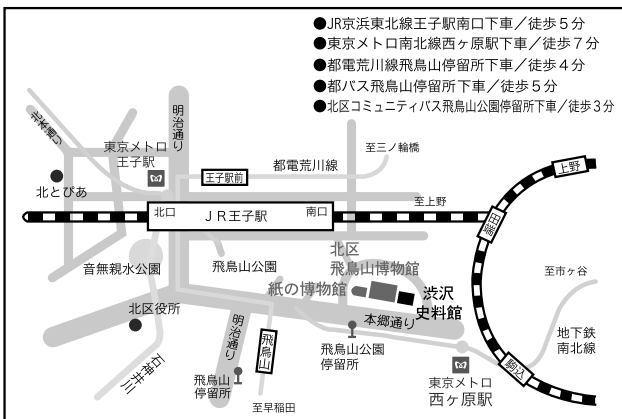
第2回 企業の原点を探るー渋沢栄一と第一国立銀行

日時：11月21日(土) 13:30~16:30
会場：北区飛鳥山博物館講堂(東京都北区)
定員：90名(事前申込・先着順) 参加費：無料
パネリスト：小林延人(秀明大学講師)
桑原功一(渋沢史料館副館長)
須藤 功(明治大学教授)
司会兼討論者：粕谷 誠(東京大学教授)

【申込先】渋沢史料館「シンポジウム係」
下記のいずれかの方法でお申込みください。
A) 渋沢史料館HP内企画展情報ページの申込みフォーム
B) 往復はがきに①参加希望回②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤電話番号をご記入の上、「シンポジウム係」まで、1枚につき、1回分、2名まで応募可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ずご明記ください。

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：10月18日(日)、11月8日(日)
※両日共、11:10~11:40 / 14:10~14:40
会場：渋沢史料館企画展示室
※事前申込不要、11月8日のみ入館料無料



専用駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

今回の展示

企画展「渋沢栄一と清水建設(仮)」
会期：2016年3月12日(土)~5月15日(日)



公益財団法人 渋沢栄一記念財団 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 2-16-1
電話：03(3910)0005
Shibusawa Memorial Museum <http://www.shibusawa.or.jp>

飛鳥山 3 博物館 <http://www.asukayama.jp>

紙の博物館 2015年9月12日(土)~2016年2月28日(日)
企画展「紙で旅するニッポン~北海道・東北編~」 Tel.03-3916-2320

北区飛鳥山博物館 2015年10月24日(土)~12月13日(日)
秋期企画展「都電残照'67ーあるカメラマンが見届けた都電ラストラン」 Tel.03-3916-1133